第二百二十二號　NAMBEI SHIMPO　9 de FEVEREIRO de 1939

C422

週刊南米

サンパウロ市ピーレスダ モツタ三八一番地
發行所 南米新報社
購讀料 一年 二三ミル
廣告料 一段 七〇ミル

祖國日本の思想界展望
一切が出直しの時代だ

△ 四五年前から見れば、日本の思想界も大した變り方である、眞に驚くに足る、日本主義と云へば一口に反動と稱して、自由主義の徒輩すら輕蔑してゐた、田中內閣が左翼彈壓の强硬方針を執つて大鉈を揮ふや、世間の俗流愚物共は、ブル新を眞ツ先に之を『反動內閣』だと罵つて顧みなかつた何も彼も左翼全盛、赤旗萬能の世の中である、そして甚だしくは、社會の風敎を取り締り、治安を維持すべき責任の地位にあるXXの屬僚如きさへもが、日本主義だと云へば時代遅れの、反動のと、輕薄な口振りを弄して恥じなかつた樣だ。

△ 然るに近く四、五年間の時代變遷のすさまじさはどうだ、日本主義でもまだいかん、主義なんて言葉自體マルクス流だ、皇道でなければいかぬ、といふ處まで來たのだ、ブル新眞ツ先に赤旗をかつぎ廻つてゐた時代には、日本主義さへ反動だ提灯だとほざいてゐた位だから、況や皇道の、何のと云へば、それこそ陳腐な麻カミシモよりまだひどく評價してゐた。

△ 然るに昭和六年の滿洲事變以後急激なる激變渦中を辿つた日本の思想界は、此處に往年バツコせる俗惡反國體思想を全く無力無價値たらしめ、日本主義は一躍昨日の敵ブルジョアヂャーナリズムでさへもが、敬稱付きで持て囃すやうになつたのである。

併しまだその頃は、本當の日本主義の意義及びその本質に關して徹底した鋭い討究もなされず、世間の唱和もヂャーナリズムの波に動くものにすぎなかつた、だがとに角一つの社會的水準にまで浮び出たことは事實である。

△ そこで先づ論題となつたのは、國家社會主義か日本主義か?といふ問題であつた、そして當時はまだ日本主義そのまゝの本質が見きはめられず、國社主義系の思想や運動が稍々優勢を示してゐた、そして『日本主義』の運動さへもが、國社と『共同闘爭』をやり、或はかへつてそれにリードされる傾向であつた、だが此處で注目すべきは、この國社系機關闘士に於て、間もなく日本主義論爭が提起され、遂に!『國家社會主義こそ眞正日本主義であり、然らざるものは盡く俗流日本主義である』といふおそろしく心臟の强い珍論が現はれるに至つた。

△ 處がである、最近傳ふる處によれば、此の事變下の國民の緊張を利用して、ある一部の方面で『大日本運動』又は『大日本主義運動』と稱するものが起されようとしてゐると傳へらる、目下の處では政治運動を避けて、專ら『精神運動』に主體を置くとかで、その主だつた顔觸れには、荒木大將、鹽野法相、德富蘇峰氏等の大所が擧げられ、その構成は右翼、軍部、官僚、政黨、財界、學界各層を網羅する有志によつて成され『現下の國際的危局に直面し國民の認識を深め、自由主義、資本主義を是正しわが國本來の日本主義を昂揚せんとする』ものだと云ふ

△ そして綱領規約等も色々と出來上つてゐる、だが一面に於て又記する處では、その畫策乃至主唱者として山道何がし、高野何がし、林何がし、吉田何がし等已に御存知の名前も列擧されてゐる、深い動きの底といふものは勿論一片の聲明書や巧辭的な綱領、演說の一端で、簡單に信憑出來るものではない。

併し此の一派がやはり『日本主義』を高唱してゐる處に注目の價値がある、最上層の人物は多くかつがれ屋だから勿論その顔ぶれのみで即斷することは出來ぬ、問題は實際動いてゐる人物だ、母國に於ける右翼といふのが果してどの程度の存在であるか?それはそれとして、已に一役終つて退場期の連中が一體何をなさうとするのか、それを聞いて見たいのだ、尤も人生死ぬ迄の闘爭である、だが德川方幕臣の生き方としては、海舟的動向以上に出づべくもないではないか、今更ら、年をして時勢と權力の繩に倚もしがみつかうなんて圖うづうしいよりも、一寸みつともない。

一切が、現代は出直しの時代である、新規蒔き直し御破算で行かねばならん時代では無いか、我々は確信する、自覺するのはよい、誕生するのはよい、併しものには順があり、職分がある、これからのものと、これ迄のものとは截然區別されねばならぬ、それは新しい、眞の思想の把握者であり、實行者たるか、否か、といふ點に於てだ。

過去の動は一切停止!新しい動きが日本人の新しい飛躍の生命的欲求と必然の線に沿ふて開展されねばならぬのだ、正しい眞の日本主義は此の司令臺に立つ、此の新しい生命的なる前進部隊の、先頭に捧げられる時代の旗だ。

我々は、曾てニセ日本主義者共が厚顔にも叫んだやうな僞瞞的『變裝日本主義』のインチキ論に誑かされてはならないのだ。

（昭和彦九郎）

清酒
東麒麟
東鳳

【南米週間案內】
●法律上の御相談は?
座喜味法律事務所へ
聖市カルモ街一八
三階四〇一四一號
電話二―四三五八

外心の惡魔

○ いつも是處でラヂオ放送を聞く每に思ふことであるが……と云つても私はブラジルのラヂオ放送の番組や內容を一度だつて感心したことがない、こゝでは純營利事業であるだけ文化の向上とか敎育的にとかいふ事は望めない、廣告が第一で音樂やニュースはそのお副へ物と云つた風である。

○ たま〳〵何かの演說や講演を聞くが、それも多くは政治的意見の主張や爲めにする宣傳的のものに過ぎないから我々の關心外だ。

ではニュースはどうか? 一體毛唐は宣傳の天才で此の点日本人などの到底及ぶところに非らず、ニュースの放送にも宣傳を忘れない『只今のニュースは何々商店が特に提供します』とやるが、事實はその朝の新聞に掲載された電報欄をそつくり失敬してアナウンサーが其儘朗讀して居るんだから世話はない。

○ それでは音樂はどうであるか?私は生來大の音樂好きであるから、ムジカとなるが、此頃はヂツと聞ゐてゐるパシエンシヤが無くなつて了つた、明けても暮れても調子外れのヒスや氣狂の騷がしさにはウンざりして居る、大体サンバやカルナヴアレスコは落ち着いて生まじめに聞くべきムジカではない、併しどの放送局も七割以上こんなものを繰り返して居る、隣家の黑ん坊のコジネイラがバネイラを叩き腰を振りつゝ此の狂はしいムジカの調子に合せる程度のもの、我々にはバカ〳〵しくて聞かれない。

○ 斯うしたラヂオの喧騷に心の靜謐を搔き亂され惱まされて居るものは私だけでは有るまい、往昔釋迦はヒマラヤ雪山の麓セン〳〵たる清流に沿ひ、樹木鬱蒼たる地點を擇び靜座瞑想にふけつたと云ふが、若し今日のラヂオが彼の時代に在つたとしたら如何なお釋迦さんでも『外心の惡魔喝!』等と香氣に澄まされなかつたであらうと思ふ、だから春秋の筆法で『ラヂオ釋迦の悟りを殺す』更に解いて曰く『文化の高下はラヂオの如き文明の所產を如何に人文の發達に利用するか、その程度に依つて判斷さる』てな事になりはしませんかねエ。

でも『同化』とは此ラヂオがウルサク無い樣になる事だと云へば其れまで。

凡て資本主義も共産主義も 個人主義から發芽す
表面には反對でも本質的には同一溫床
日本自らが反省すべき秋

△ 今吾人は事變及び長期戰のために精神的にも物質的にも相當深刻に惱みつゝある、然し昔からいはれる通り『天の將に斯の人に大任を降さんとするや、必ず先づその心志を苦しめその筋肉を勞する』のであつて、吾人は決して悲觀しない、むしろ今回の事變を神慮と心得て吾人は一日も早く病源をつきとめ、如何なる困難と犧牲とを拂つても百年の大計のために拔本的な療法を見出し、以つて神意に添はねばならぬ。

○ 資本主義と共産主義とは表面的には反對してをつても、本質的に同一の土壞なる個人主義から發芽したものであることは言ふまでもない、文明が進み交通が自由になり産業が發達して大量生產が出來るやうな時代になると、この畑には先づ資本主義が出現し、資本主義は必然的に多くの無產勞働者を生み出し、その結果いろ〳〵の社會主義的段階を經て共産主義が發生する、即ち個人主義なる母體から資本及び共産の兩主義が兄弟として生れる、この兄弟は最も仲惡く階級爭鬪を演ずるやうになる、兄を倒せば弟が跋扈し、弟を殺せば兄が暴威を逞しくする、即ちレーニンの謂ふ帝國主義とプロ獨裁とである、故に正しき生活を得る爲めには母體なる個人主義を根本的に變革しなくてはならぬ、然し外國の歷史では遠い昔既に神と人との爭があつて、天國や彼岸は歷史の外に離れ去り、神も消え失せたから、人間が最高となり又人間のみの生活となつてしまつたか、かゝる人間生活は、遂に露骨な個人主義とならざるを得ない、神と人との爭鬪から國王と人民との爭を經て、終りにブルヂヨアとプロレタリアートの戰となることは、マルクスの論じた通りに、革命を持つ歷史ではいづこに於ても共通的である、たゞ天孫降臨と萬世一系と祭政一致とを持つ歷史に於ては革命の存在しないことは爭鬪と交替との存在しないことを意味してをる、この超爭鬪、超交替、超革命の原理のみが個人主義を止揚し、從つて資本主義と共産主義とをも克服することが出來る、天孫降臨に初まり神胤の萬世一系を中軸とする歷史を自覺し、祭政一致を實現する日本主義のみが、二つの症狀を平げて正しい人間生活を齎らす事が出來る。

△ さて吾人は陰陽の兩症が資本主義と共産主義とであり現在それがソ聯と英國とを本陣として我日本の周圍から押しよせて來てをる事を知つた、兩方ともに誤つた生活原理であり、人生の病毒であるから、兩方ともに同樣に討伐されなくてはならぬ、いづれを先に討つべきか、及同時に討つべきかは當路者の研究すべきことであつて、吾人は今これに容喙しない、たゞ陽症は恐るべき姿が明白であるけれども、陰症は鄉原の如く似而非なるものであるから不明瞭である、そこで吾人は特に注意し充分に論明し以つて方向を誤らないやうにしなくてはならぬ。

△ ソ聯の共産主義は陽症であつて、その害毒性が明瞭であるから左程恐るべきものではないが（國民はこれを知つてをるから）しかも常に吾人は共産主義を恐れるその理由は共産主義の兄弟なる資本主義が國內に充滿し、富者も貧人も等しく利を追ふことに汲々としてをるからである、而してかゝる自己の利得のみに專念するのは個人主義である證據である。

△ 更にこの個人主義が一般的に流行してをるから、宛もそれが正規の人間生活の原則であるかの如く考へられて、少しもその恐るべき病症が氣付かれてをらぬ、既に自己が個人主義に感染してをるからして個人主義から生れた共産主義がさながら兄弟であるかの如く思はれ、容易にこれに共鳴する、こゝに吾人が共産主義に對して嚴重な警戒を要する理由がある、本來吾人が共産主義と全く異つた日本國體（祭政一致）を充分に自覺してをるならば、共産主義の入り來る余地がないからこれを恐れる理由も存在しない筈である、吾人が共産主義を恐れねばならないのは、既に吾人が共産主義の兄弟なる資本主義に感染してをるからである、前に述べた如く資本主義は共産主義の兄である、故に吾人が資本主義になつてをる限り常に共産主義に陷るべき原因が存するのである。

祭政一致の國體精神が自覺されて居るならば
共産主義など問題にならない

△ 然らば吾人が赤化運動やソ聯を恐れて敵とするのは吾人が資本主義になつてをるからである、資本主義を克服して祭政一致の日本國體が充分に自覺されてをるならば共産主義は初めから問題にならない、吾人はもとよりソ聯を討つべきである、然し赤色ソ聯を危險視し、これを恐れる理由は吾人が資本主義になつてをるところにありとするならば、ソ聯を討つよりも先決問題とすべきものは、吾人が吾人のもつところの陰症なる資本主義を征伐する事である、自己を先づ改正して後に他を討つのが順路である、自己が强健ならば病は恐れるに足らぬ陽症を恐れるのは既に陰症にかゝつて身體が衰へて居るからである。

然らば二大病症を療治する爲には先づ日本の國內改革が緊急課題であることを悟らねばならぬ。

△ そこで吾人は現時局論理の結論を次の如く發表する事が出來る、共産ソ聯を討つことは、資本主義と日本とソ聯の共産主義との階級爭鬪を意味し、從つて表面的には國家と國家との戰爭の如く見えるが、內容的[illegible]闘にすぎない[illegible]級爭鬪は永久[illegible]替であつて徹[illegible]ではない、反[illegible]英國をうつこ[illegible]資本主義日本[illegible]であつて、日[illegible]本的な反省た[illegible]によつて更生[illegible]の姿にかへり[illegible]に到達し窮極[illegible]得る道である[illegible]人の得た判決[illegible]決はかくの如[illegible]であつて、こ[illegible]斷が目下の急[illegible]この急務を外[illegible]

この急務を國民の意識から忘却せしめる爲に、企劃院や參議や調査局や厚生省の新設や顧問や五相會議や三相會議等の複雜極まる制度を多く設け、政黨に阿附して國民の認識を誤魔化すのは、全く國體を不明徵にするに外ならぬ吾人は祭政一致の標語が取り除かれてその代りに曖昧模糊な社會正義が掲げられたときに國體明徵の運動が一步退却したことを悲しんだ。

行衛を晦した ブルッヘル 支那軍を指揮

【ハルビン特信】ソヴエート赤軍極東特別軍司令官ブ[illegible]

今週話題

南米珍聞

文明の高下と毒物

人間が自殺又は他殺の目的に使用する毒物は澤山ある、支那印度等の古い記錄を見ると實に理想的(?)の毒藥使用を記したものがあるが然し今日の科學から見て何れも證明の困難なものばかりであり、本當にそんなものがあつたかどうか甚だ疑はしい。

使用の毒物は社會の文化程度、使用者の知識の有無、使途、職業、男女別、年齡等に從つて千差萬別である、今では梅干に鼠の糞を入れると云ふ樣な三國誌的のものを用ゐる例は殆どなく、何か知ら化學藥品を使ふ事が一般であり、それも他殺の目的には臭氣、味はひの點から成るべく發見の困難なものを、自殺の目的には入手し易く、樂に死ねるものを擇ぶと云ふ事が性質上最も自然とうなづける、それから文明國人の間にはアルカロイドの樣な苦しみの極く少い藥品を使用するが、文化の低い國僻鄙の地ではそんな贅澤が云つて居られず、苦しみの多いばか〳〵しい藥が用ゐられる、即ち非文化人は死ぬのにまで苦しみが餘計課せられたと云ふわけになる。

毒殺には昔から亞砒酸が多く用ひられる、無味無臭で有効だからである、然しこれは化學的には非常に發見され易い藥品で、西洋ではその別名を『愚者の毒藥』と云ふ、近來流行のネコいらずに致つては、多く自殺の目的に用ゐられるため同じ馬鹿でも一人の馬鹿に留まるが、その苦しみの猛烈さと來たら大變なもので硫酸、硝酸等の咽下と相並ぶべき馬鹿の大關である、然し手に入り易い所から新聞で『ネコ自殺』等と云ふ熟語が出來る位に流行を極めて居る、一方から見れば文化がまだ低い一つの證據にもなり、國辱的毒物と云ふ事が出來る。

專門家の方では毒藥使用の鑑識をするのには凡百の化學的方法は云ふに及ばず動植物學的、顯微鏡的、光學的の試驗をも併用するから仔細にやられては全ての毒物は正體を現はさないわけには行かない。

紫外線の限りなき用途樣々

○—○ 石英水銀燈は從來醫療用とか、特殊の光學上の目的にのみ使用せられ、一般の商業や工業上にその恩惠を及ぼす事が少なかつたが、近頃では次第に應用の範圍が廣くなり、我々の生活とも大分直接のものとなつて來た。

○—○ 即ち眞珠が天然產のものであるか、人造物であるかもその光線に照らせばはつきりとするし、毛織物の中に木綿が交織してある事等は實に朝飯前に鑑定する事が出來る、それから株券や紙幣の僞造の如きも、肉眼で鑑別するのは甚だ熟練を要する所であるが、紫外線で照らすと、成[illegible]違つた紙でも全[illegible]調を出すから、[illegible]鑑定係を煩はす[illegible]ぐに分つて了ふ[illegible]去、書換に至つ[illegible]ある。

○—○ 水銀燈試驗は[illegible]見分けにも使ふ[illegible]る、動物性乃至[illegible]油はその光りの[illegible]花々しい色合ひ[illegible]鑛物性のものは[illegible]矢張り油になつ[illegible]居る、それから[illegible]になると、ニュ[illegible]

CASA TOZAN LTDA.
COMMISSARIOS
Phone: 2105 e 2106 - Endereço Teleg. "TOZAN"
Praca Maua, 25 - Caixa Postal, 911
SANTOS

珈琲コミッサリオ
カーザ東山

東山銀行
伯貨定期預金
一ヶ年 六歩

サンパウロ事務所
ルア・フロレンシオ・デ・アブレウ七四―七六
郵函 五二八 サンパウロ
電話 三―一一四二番
三―一一四三番

リンス事務所
アベニーダ ボル・タリオ
ロザリーノ・シルバ一四七
郵函 一一番
電話 一四七

切り取つて手紙の表にはられたし

Banco Especie de Yokohama, Ltd.
The Yokohama Specie Bank, Ltd
Rua da Candelaria No, 23
Caixa Postal, 380 - Rio de Janeiro

◆伯貨預金
定期預金六ケ月以上利率當分年三歩五厘の割であります
外に當座預金特別當座 預金など御便宜御取扱ひ申上げます

◆日本貨預金

◆鄉里送金
新爲替管理令により內地向送金は一口五百ミル迄許可さるゝ事となりました、但し送金許可獲得には多少の遲延は免かれません
尚新令により特別税として送金額の六分（6%）を、ブラジル銀行へ納入せねばなりませんから送金額以外に六分（6%）の金額を加へ御送金下さい、特別税六分（6%）御送金なき時は御送金額中より差引き殘額內地向送金申上げる事と致します

橫濱正金銀行
リオ・デ・ジャネイロ支店

說園

武道から見た歌舞音樂

內田良平先生遺稿

（承前）

現在古樂を聞いても支那傳來の樂を聞けば支那現在の騷がしいカン高い音樂が上古より傳來してゐる事が知れ、日本創作の音樂を聞けば日本人が外來の音樂を輸入して來ても自己の本位たる雅樂を創作したる事がわかります。

故桃中ケン雲右衛門などが自己一流の浪花節を創作するにあたりビワ唄の節や色々の歌謠を取入れたけれども、渾然として浪花節に調和し他から取入れた痕跡を認める事の出來ない程巧妙に應用したのです。

△

然らば我が國民性は如何なるものであるかといふに人間の性情美が天地と大自然と一致し萬物を生成化育して行く麗はしき力强き所に國民性としての基調があります。

だから麗はしく力强きものを好み其處に日本人としての美術が成立つてゐるのであり、故に日本人の歌舞音樂は至大至强の域に達せられんとしつゝ、研究せられ發達して來た結果、武道と一致するに至り武道の極意は歌舞音樂の極致に一致するまでになつて來たのです。

其のくわしい事をお話すれば余りに長くなるから一二の實例を擧げて說明するにとどめて置きます。

△

日本は前に述べた如く世界に類なき程多種多樣の歌舞音樂を持つてゐるが、今一つ世界に類のないものがある。

それは音樂に『懸け聲』をすると云ふ事であります鼓、大鼓、三味線など最も『懸け聲』をかけて居りますが『懸け聲』の目的は歌を唄ふものと、音樂者との間拍子を整へ或は合奏者間の間拍子を整へそして氣勢を添ゆるのであります。

この『懸け聲』を武道上より說明すれば我が歌舞音樂と武道の一致せる事歌舞音樂が如何に幽玄なる天理を基礎とせる國民性より出て來たるものであるかと云ふ事が出來るものであります。

△

武道に於て『懸け聲』は三つの聲と稱へ、初、中、後と三つに懸ける場合が別れてゐる。

戰を交へる初に懸ける聲と戰ふ間に懸ける者と勝つて後にかける聲と一であり其の三つの聲を發する理を正聲勢とするのであります

正は聲もなく音もなく靜寂の境を本體とし正とするのである。

老子書に無名は天地の始め、有名は萬物の母とある通り、無音無聲なれば有名なく虛無は天地の原始であり、陰の極である。陰極まつて陽を生じ萬物發生するところに音響を生じて物名を生ずるものである。

その聲即ち勢となるが故に正聲勢の理となるのであります。

以上の理により日本の音樂は總て陰より發して陽に開く組織となつてゐて、陽に發し陰に閉づると云ふ組織のものもないではないが夫れは俗の俗なる音樂に限られて居る。

△

之は國民性に由來するものであつた、この國民性は天地自然に則つてゐるのであります。

天地の氣は運行して、春夏秋冬を生じ、春夏は陽にして、秋冬は陰である。

夏は陽の極、萬物繁茂し成熟するものなれど、秋の季近く直に凋落し永續性を有しない。

冬は陰の極、春の季は近く萬物發生の根源にして其の力自から强きものあるのみならず、春より夏と永續性がある。

其處に音樂の基調を立て陰に發して陽に開くと云ふ事を以て至大至强なるものとしてゐるわけです。

△

故に日本の音樂を聞いてゐる時は如何にも靜かにて陽氣に乏しき感あれ共曲を終つて後始めて陽氣發生し來り『嗚呼面白かつた』と云ふ感想が湧いて來るものであり。茲に永續性が認めらる。のです。

漸次內憂外患深刻を極める

落潮佛國近時の哀史

歐洲に覇を稱へた往年の雄圖は何處？

感慨深し國家民族の興亡

△

昨年末フランスの總罷業が脆くも失敗したことは周知の通りであるがフランスの現狀に於て此事ありしは國家興亡史に潜心する者に取つて正に感慨深きものがあつた、曾てフランスは其民族的天分と愛國的情感とを以て歐洲に覇を稱へたこともあつたが、今や往年の雄圖大策はしのぶべくもなく、其國運挽回の如き到底期待し得ない有樣だ、國位は二流所に墮し、民族は頹廢氣分に憑かれてゐる、而して世界大戰後の國際的地位を維持して來た所以のものは所謂ヴェルサイユ體制の殘骸に獅嚙みついてゐたからだ、獨、伊の復興と英の算盤勘定とが漸く露骨となるやヴェルサイユ體制の崩壞となり、フランスの焦慮衰退の姿が頓に擴大されて來たことは否定し得まい此際に起つたフランスの總ストライキの反響は頗る重視さるべきものがあつた。

△

さて總ストライキの直接原因はフランスの財政、經濟の建直し方針にあつた、而してレノー藏相の財政、經濟政策はダラヂエ首相の現實的外交政策たる對獨協調方針と抱き合つたものとして社會黨、共產黨系の猛烈な反對に當面した譯であるが實は政治、經濟の兩分野を作つた思想的分水嶺こそは危機の中心であつた。

△

惟ふにレノー藏相は歲出豫算百三十六億圓に對し、五十億圓の不足あることを指摘し、之が對策として增稅の外、工業生產力の三四割增進の必要を强調してゐる、昨年十月上旬、ダラヂエ內閣が上院に於て財政建直しに就ての全權を賦與せらる、や、豫算委員は力說して曰く『生產の增進なく物價が平常に復することなく、而して國民所得の增加がなくして凡ゆる財政改革は竟に不定の結果に了るであらう』と蓋し至言であるしかるにフランス政界は一昨年五月の總選擧に於て所謂人民戰線派が壓倒的多數を占め、竟に翌六月其首領たるブルムを推して組閣せしめたが當時皮肉にもストライキが頻發しパリ附近にける參加人員な實に百八十萬人にも達してゐた、これ人民戰線派の試みたブルム內閣に對する牽策に外ならない。

△

果然ブルム首相はストライキを以てする牽制策に應じて、一週四十時間勞働制團體協約及び有給休暇制等を約して勞働者側の要求に服從した、而して昨年六月ブルム內閣はその崩壞間際に六十余件の命令を發して前記の要求を法文化としたものである、而もレノー藏相の力說にかゝる工業生產力の三四割增進方針が人民戰線內閣のこの遺產方針其まゝを踏襲しては目的を達し得ないこと素より明かであらう、レノー藏相はラヂオ放送演說に於て政府は前記規定を破棄するものでなく、單に四十時間勞働制の一部例外を設けたものに過ぎない、且つ稅制改革が貧富兩階級に不公平でないと辯明して勞働者の自重を要望したが、結局總罷業の決行を見るに至つたものである、而して政府の强硬方針が奏効して總同盟側が失敗に了つたこともまた公知の通りである。

△

云ふまでもなく總罷業に出た主勢力は勞働總同盟であつたが其總同盟はブルム內閣成立當時に於ては會員百万に過ぎず、しかも主として官業勞働者を以て占められてゐた、しかるに僅々二ケ月にして總同盟の會員は俄然五百萬に達し書記長ジューオーはブルム內閣の社會政策を背景として絕大の權威を揮ふことになつた加之勞働總同盟は一昨年のツールズ大會に於て曩に共產主義勞働總同盟との合同を結成し其實體は完全にモスコーの支配下に移ること、なつた。

△

此頃の總ストライキに際しコミンテルン書記長ヂミトロフのパリ乘込說が傳へられしことも肯かれ得べく共產黨の指令がストライキの發火原因なりしことは疑ふべくもない、即ちフランスの國運は再度に及ぶ人民戰線內閣により急角の落潮振りを示し竟に再起不能の打擊を招來したものである、此點イギリスの落潮振りがマクドナルド勞働黨內閣の出現以來から目立つて來たこと、類似してゐる、民心の萎微不振と安逸懶怠の氣風が自由主義、社會主義而して共產主義の跳梁跋扈に對し絕好の溫床たることを明示した活例であらう

△

フランスは內憂外患深刻を極め衰退の一途を辿りつゝあるが此際に於て尙階級戰の惡夢から醒むることを得ず勞資相搏ち俱に仆れんとしてゐる、經濟再建の如きは素より期し得べきものでない、現內閣の健鬪は了を認め得べきも竿頭更に一步を進め得ざることは明である、デモクラシー國家群の一勢力が萬策盡きて退陣せんとする前夜曲であらう素面にせよ假面にせよ社會主義的政策の流行時代であるが之により竟に國家の潑剌たる生活力が消耗枯死するに至ることはフランス近時の哀史を觀ても明かである。

輕兆浮薄の風一掃

徵兵檢査の成果

流石如實に事變色を反映す

【東京特信】戰時下の徵兵檢査は近年壯丁の體位低下が憂慮されて居る際、その結果が注目されて居たが、今回全國徵兵署からの報告を綜合したところに依ると流石事變色を如實に反映して例年にない緊張した良好な成績であつた事が判り當局を滿悅させて居る

即ち昨年の檢査は四月十六日から七月卅一日迄全國一千余ケ所の徵兵署で實施されたが、いづれの受驗壯丁も現下の重大時局をよく認識し、兵役義務心が旺盛な事が看取された、思想は至極質實剛健で、往年一部青白き壯丁が生かぢりの思想を振り廻して得々とした如き事は一つもなく

血書其他の方法で眞面目に徵兵を歎願し、或ひは國外にある第二世で遙々現役兵を志願して來たもの等もあり、幾多の揷話を生んで居る、時局認識の眞劍である事は獨り壯丁だけでなく、一般地方民も近年低下した國民の體位向上に協力、眞劍な努力を拂つてゐる事はうれしい事で、檢査關係の地方官公吏、在鄕軍人會、青年團等の諸團體、篤志家が積極的、自發的に檢査の圓滑な進捗を援助する等軍民一致の美しい風景を釀し出して居る

更に壯丁の花柳病、トラホーム等の撲滅には專心努力、該病に因る不合格等の不名譽は一掃しようとして居る事が各地に見受けられたとの事である

獄囚一千萬人

△ソ聯肅淸工作の犧牲

トハチエフスキー事件をはじめ血に染められたソヴエト聯邦の肅淸工作はいつ果つるとも止まるところを知らずその眞相については世界の視聽を集め異常の關心を拂はれつゝも、ソ聯の情報が內輪であるのでその全貌が明かにされなかつたが、最近某方面に達したソ聯の機關紙が自ら眞相を暴露し、現在肅淸工作の血祭りにあげられた牢獄に呻吟するもの一千万人といふ驚くべき事實を報じてゐる、すなはち內務人民委員（ゲ・ペ・ウ）エヂョフの報告によると煽動その他のかどで昨年一月一日以後逮捕監禁されたものは二百六十萬九千人に上り、トロツキー、ブハーリン、ファシスト民族主義者などの非合法團體として發覺したテロ團體は八百十三に達してをり、また强制收容所に收容されてゐる人民は六百十一萬二千四百二十六人、移動範圍を制限されて流刑地に居住する逮捕者三百八萬二千二百七十人、合計一千萬人の驚異すべき數に上りソ聯の全人口一億九千萬人として十九人に一人を囚人としてをり現在のソ聯はさながら大牢獄國のごとき觀を呈するに至つた。

芳子難を免がる

【天津】例の川島芳子は昨年々末支那人暴力團に襲はれて殺されたと報じられたが、同女が天津フランス租界內のマッケンジー病院に王夫人を訪問した時、變裝の支那人が病室に侵入して二人の婦人を金槌で毆打し王夫人は即死したが川島芳子だけは重傷のまゝ共立病院に送られ目下加療中

滿洲國に徵兵令

【新京】滿洲國に於ては國防强化の爲め皇帝は勅令を以て一般徵兵令を發布し直ちに施行さる、事となつたが、同軍隊は日本軍指揮の下に組織さる

大飛行場を新設

【東京】內務省都市計畫東京地方委員會が昨年十二月二十日最後の委員總會を開いた結果、北多摩郡調布町を中心に三鷹村、多摩村の五十三萬坪の世界に誇る大飛行場の建設を決定した、總工費四百六十萬圓、三ケ年の繼續事業で東京府が建設するもので既に府の豫算も決定し、用地買收に着手した

社告

本紙購讀料

從前通り年極廿三ミル

本紙廣告は

本年より一段七十ミルに改正致します

昭和十四年一月

南米新報社

左か右か去就に迷ふ

歐洲の國々……（五）

チエッコ

ハンガリーを見た目でチエッコを觀察すると之は前述したが全然反對の現象がうかゞはれる、即ち統一すべからざるものを人造的國家に統一し樣とした最も惡い例の一つであることが分明する、歷史的に云ふならば文化の程度に於いて全然ドイツ化せる、從つて近代的高度資本主義を代表せるチエッコ人とハンガリーの大地主制度に歸屬した小作人たるスロバキヤア人と未だ封建的基礎をさへ有せざる中世の遊牧民たるルテニア人（小ロシア人）との三要素を纏め上げ、之にドイツの國粹主義を體現せるズデーテンドイツ人、スロバキヤア人とは根本的に相容れざるポーランド人及び國際金融資本主義を代表せるユダヤ人を配置して綜合し、ドイツに對する防壁が出來上つたと考へた結果が今日の始末となつた譯である。

◇

[illegible]の樣なチエッコの滅亡は英米人の考へる樣にドイツ若しくはハンガリーの野心と云ふことにその本質があるのではなく、その存在惡的運命的な結果が廿年後の今日現はれたに過ぎない亦この目を以てすれば、今日殘つてゐるチエッコの他の部分も將來安穩をつゞけることは困難であらう。

ポーランド

ドイツの復興を阻害する爲めに建立された他の一國はポーランドである、此國民は民族としては比較的純淸を保ち得る條件をもつてゐる、勿論今日に於てはユダヤ人、リトワニア人、ルテニア人等の少數民族を含み、國內の紛爭は可成り激烈なものはあるが同じスラブ民族の內ではポーランド人はチエッコ人と違つて地理的にその存在と繁榮を許される條件を具へてゐる。

◇

獨、波、チエッコの歷史地理的な關係から云ふと元來ワイクセル河の上流地方がポーランド文化の發祥地である、一方ドイツ文化の母體たるエルベ河殊に、その上流のドイツ民族の神聖なる文化發祥地は今日のチエッコの首都プラーグ附近である、だから民族の感情から云つてポーランドとドイツはチエッコとドイツの關係とは大分異つて來る。

◇

只一つコリドール（廊下）と稱せられるポーゼン地方（ポーランドではポズナン地方）は舊ドイツ帝國の基礎であるブランデンブルグ公領家即ちホーエンツオルレン家の興つた地であると共にポーランド貴族の發祥地である、此處は小麥の豐饒な生產地である。

◇

從つて將來ドイツがより强力になつた場合ポーランドはこのポーゼンをドイツに返還せねばならぬ運命に陷るかも知れぬ、元々ポーランド人は支配の民族ではなしに流轉の民族である、必ずしもポーゼンを發祥起原の地と強く主張出來ず寧ろ北のヴイルナはポーランド第二の故鄕であると同時にリトワニア人の故地である（ポーランド建國の父ピルヅスキーの故鄕）故にポーランドが將來生きる爲めにはフランスの庇護を離れソヴエットの全面的敵となりドイツにたよるより外ない。

◇

即ち廊下をドイツに手渡して北方リトワニア方面へ進出するか、ハンガリーと手を握り、チエッコの再分割に努力する以外には道はないであらう、ボーランドはドイツを牽制する爲めに常にフランスの庇護を受けて來た、曾てルッツ・スミルギー元帥はこのドイツ牽制條件の下に二億ゾロツイの金をフランスから借入してその國防費に充て、フランスのエチエガライエ將軍を顧問としてその軍參謀部を確立した經緯が此間の消息をよく說明してゐる、しかしポーランドは斯樣にフランスの庇護に依つてドイツ牽制の役目を賴つて來たが、一方ドイツに對して徹底的敵對行動をのみとつてゐる譯ではなく、例へば前述の問題のコリドールに就いてはドイツと十年間の不可侵條約を結んで居り更に先頃のチエッコ紛爭に關聯しては、テシアンを得て新興ドイツの手を握つて居る

◇

その外交工作に於て常に獨、佛をテンビンに掛けて動いてゆくのは中歐の複雜極まる國際關係上止むを得ぬ結果と見るべきであらうテシアンを得たポーランドがハンガリーと共にチエッコの殘つた部分を南北に切半して獲得したい意圖をもつたがヒツトラーの反對が之を許さなかつた、同時にハンガリーは直ちに、將來何れの問題に關してもドイツと手を握らずには解決せずとの聲明書を發してこの野望を糊塗した。

◇

◇

廣告

去る一月廿二日の定期總會に於て改選の結果左の諸氏が役員に當選しました

二月二日

ジュケリー農產組合

理事長	鳥越寅二郎
專務理事	中澤源一郎
會計理事	中野角次郎
理事	本田信平
同	今西照夫
同	林富二郎
同	古賀仁太郎
同	岡田直記
同	原田實
幹事	大熊久吾
同	相川邦雄
同	村山充衛
補充幹事	松村義夫
同	橫溝紋太
同	田平榮一

料亭 富田家

聖市 コンセレイロ フルタドー街 一三五

電話 二一六七六七

料亭 青柳

聖市 ルア タバチンゲーラ 五六

電話 二一一九四八番

●小生旅行中【南舟生】

Dr. Alarico Franco Caiuby
ADVOGADO E
Tsuguo Kishimoto
TRADUTOR PUBLICO JURAMENTADO
Rua Jose Bonifacio. 233
(3 and Salas 310-311 e 312)
Caixa Postal. 1124 Tel 2-1137
S. PAULO

鑑識手帖　歸化　遺產相續　營業登錄
刑事民事　警察事項　內外諸官憲手續等
凡て法律事務に關し誠意を以て御相談に應ず

カユビー キシモト 法律事務所

元司法長官 辯護士 ドットール アラリコ・カユビー
公證飜譯人 岸本次男
●事務所 ルア ジョゼ・ボニファシオ二三三番 三階 三一〇 三一一 三一二號室
電話 二一一一三七
郵函 一一二四
自宅電話 三一九二四七

DR. SEITOKU ZAKIMI
ADVOGADO
e
TRADUCTOR PUBLICO

法律一般　△呼寄歸化　△遺產相續　△專賣特許
公證飜譯　△營業登錄　△簿記整理

辯護士、公證飜譯人 座喜味盛德
聖市カールモ街一八番三階
電話 二一四三五八
自宅 五一〇二六三
郵函 三七三〇

CASA HAMAOKA
Rua Ceres 106 C Postal 993 S. Paulo

施肥によつて增收と品質の向上を計りませう

配合肥料 バタタ アルゴドン トマテ 一用

其他有機質及化學肥料一般
●御申込次第定價表差上ます

聖市 濱岡商店 電話 二一七五八一番

大阪商船 發着廣告

日本へ

北米經由	もんてびでお丸	サントス發 二月八日	橫濱着 三月廿五日
南阿經由	あらびあ丸	サントス發 二月六日	神戶着 四月二日

日本より

ケープより	らぷらた丸	神戶發 十二月廿四日	サントス着 二月六日
ベノスより	あらびあ丸	神戶發 十一月廿九日	サントス着 二月三日

詳細は弊社又は下記代理店へ

サントス ブラジル大阪商船會社 (Soc. de Nav. Osaka do Brasil Ltda.) Rua Cidade do Toledo, 31 SANTOS
聖市 伯剌西爾大阪商船會社出張所 (Soc. de Nav. Osaka do Brasil Ltda.) Filial de S. PAULO Rua da Quitanda, 82 S. PAULO
リオ Wilson Sons & Co. Ltda. Avenida Rio Branco, 37

戰地に咲く赤誠の花

白衣の天使恩愛の絆を絶ち悲壯な決意

全國民は感激の涙で送る

日本赤十字社では全國一齊に戰時下赤十字デーを催し、今事變に神々しき迄に目ざましい働きを續けてゐる白衣の天使に新たな感激の念を抱かせる事になつた。

事變勃發以來彈雨の中に又は惡疫流行の奥地に一身を挺して戰傷病兵の看護、支那民衆に對する施療は實に涙ぐましい位で、幾多の應召、勤務、篤志美談を生んで居る。

以下そのうちから二、三の美談を拾つて見る。

哀愁深い位牌の前に渡された召集令

夫婦揃つて御奉公

滋賀縣支部所屬看護婦水本よしえさんは唯一人の愛兒を病魔に奪はれ、哀愁深い初の逮夜、眞新しい白木の位牌の前の水本夫妻の手に渡されたのは夫善十郎さんの召集令狀、よしえさんへは救護班編成要員としての召集令狀であつた、近親者はせめて愛兒の喪の開ける迄延期して貰つたらどうだとよしえさんの召集延期申請をしきりに勸めたが、よしえさんは

『亡兒の愛着に逡巡してゐる事は救護員たるもの、恥とせねばなりません、今御國は大事な秋です、子供の死位は何でもありません』

と亡き愛兒への斷ち難い愛着を秘して近親者の好意をキッパリ斷つて一切の後事を託し、夫善十郎さんと共に自宅を出、夫婦揃つて應召した、同女は昭和七年の上海事變にも應召し、その功に依つて賜金を拜受した程である。

戰地へ

妻は白衣の天使

夫も義弟も

岩手支部の看護婦中島ちよ（三五）さんは四人の子供の他に六十に近い養父母と一人の義弟と共に夫豐次郎氏の染物業を手助けして來たがちよさんに召集狀が來た、之と同時に衞生伍長である夫豐次郎氏と義弟豐藏君にも召集令が下つた、支部では一家の働き手全部を一時に失ふ事の窮狀を考へてちよさんに歸鄕させ樣としたが、同人は之を承知しないばかりか、附添つて出頭した養父吾治郎氏は

成程一家の稼ぎ手を一時に失ふ事は經濟的痛手には相違ないが、日本國民として息子共ばかりでなく嫁迄が御國の御役に立つ事になつたのは光榮至極である、このま、歸鄕とは以ての外である、自分等夫婦等は老いたりと雖も、決して戰地にある息子や嫁に心配をかける樣な事はしない。

と涙ぐましい感激を以てちよさんの歸鄕を拒絶したので支部でもちよさんを其の儘採用した、ちよさんは今夫、義弟と共に戰地にある

愛し兒の死も知らず

專心傷兵の看護

殘る夫も身は軍籍

秋田支部の福島たつみさんは今事變勃發後間もなく戰地に派遣されたのであるが後に殘つた夫福島正男氏は一子正敏君を男手一つで育て、來たが、正男氏も兵役關係があるので、萬一の場合を考慮し後顧の憂ひのない樣に正敏君を樺太泊居町の實家に養育を依賴したが間もなく愛兒が病死してしまつた、夫の正男氏は母の手に抱かれずに死んだ愛兒を哀れみながらも戰地にある妻に此事が知れたら公務にも障る事を心配し、秋田支部宛に

『子供の死は妻に知らさない樣にと態々電信して來たので、支部でも夫君の衷情を酌み、今も倘たつみさんは愛兒の死を知らずに居る』

遺族紛擾

調停所設置さる

下賜金を繞る

名譽の戰死者に賜つた賜金等を繞つて、遺族間にゴタ／＼を惹き起してゐる事例も決して少しとせず之等の紛爭が訴訟となつて法廷に持ち出される事は戰死者に對して面目ない事であり、又與へる影響も甚大なので之を何とか內輪に解決される樣調停機關の設置に付いて司法當局では考究中であつたが、今回大藏省から設置に要する費用を得たので近く全國各地に遺族紛爭調停所を設ける事になつた、之は現在行はれて居る一千圓以下の金錢債務調停、借地、借家調停と同樣に紛爭の當事者と係判事、それに地方の德望家だけが會して懇談のうちに取り纏めて行かうとするもので、普通訴訟の如く外に知れる心配もなく、又辯護士を依賴する事もなく、至極短日間に一圓足らずの費用で事足りると云ふのである。【東京特信】

檢察官の强制權

人權蹂躙防止に逆效果だと

在野法曹から反對

【東京特報】司法制度の根本的建直しを目的とした司法制度調査委員會はいよ／＼議題の中心たる『豫審制度の改善と檢察官に强制權を賦與する件』に就いて近く審議を進める事になつた、此問題に對する司法當局の意圖は

『現在非難の的となつてゐる人權蹂躙を根絶するためには刑事々件の調査に檢察官に强制權を認めて居る法條がない爲、已むを得ず行つてゐる行政檢束を絶對に廢止して檢察當局に對し犯罪搜査のために必要な强制權を賦與した調査の合法化を圖ると同時に、現行の豫審制度を廢止又は簡略化して未決拘留の短縮を圖る事が絶對に必要である』

と云ふのであるが、之に對して在野法曹側では

『檢察部に强制權を賦與してゐない今日でさへ、人權蹂躙の非難が絶えない實狀であるのに、檢察當局に强制權を賦與するに於ては現在よりも一層人權を蹂躙される危險性がある』

と云ふ反對論があり、同委員會に於て果して如何なる結論に到達するか注目されてゐる

照宣鏡

○文教普及會から發行して居る『黎明』二月號は出たが、例の中西武官の教育論に堂々反駁をした當事者が一言をも觸れて居ないのはどうしたことか？

○巷間専らの噂では文教會から野村事務長は葛岡主事を帶同してリオに上り、中西武官に『あ、いふ事を書き、タテ突いて誠とに惡かつた』と謝罪した——と傳へられてゐる。

○まさかとは思ふが機關誌黎明に是れほどの重大事件（特に普及會にとりては）に關し、何處に風が吹いたと云ふやうな澄ましかたをして一言半句も觸れることを避けて居るところを見ると、右『謝罪』の噂は滿更ウワサだけで無いかも知れない、テモ腰ぬけの文教先生達ではある。

○文教普及會とは日本語を普及なさる會だ、日本語を普及するといふ精神は第二世に日本人の魂を培ふと云ふのだらう、そして日本人の眞の魂は——手ッ取り早く云ふなら、自ら省みて直くんば千萬人と雖も我れ往かむ、といふところだ。

○對手が大佐殿であらうが大將閣下であらうが大義正論を唱へるに何の躊躇があらう？

○我々の愛國御奉公の道は古今一貫、時と所に依つて高低出沒の變化有るべき道理がない、況んや權勢や金力位に一分一厘だつて動かされる筈がない、正論はどこまでも正論だ、斯の如く大義正論の爲めに道の爲めに殉んずるのが御民我等の本懷ではないか。

○日本語を普及し日本魂を長養するとは此の信念此の氣慨を栽えつけることだ、何んぢやかんちやと理屈は幾らでもあるだらうが、要するに普及會存立の所以はこゝに在るのだ、其精神を自ら放棄するならば普及會なんて實に無用の長物だ。

○家貧にして孝子出で國亡びんとして忠臣現はると云ふではないか、現下の教育危機は單なる我々在伯廿萬同胞のみの問題ではない、問題は皇道精神の消長である、我が官民が果して何の程度まで斯の大精神を全うせんとするかの試金石だ、是れ迄國家の補助金をバスタンテ喰らつて生きて來た普及會よ省みて不孝の兒となる勿れ、後世の物笑不忠の臣となる勿れ。

愚にも赤魔に操られて

踊る抗日青少年

延安に開いた抗日大學の正體

◇

抗日教育の犧牲となつて踊る敗殘支那の學生は抗日戰線の一角に驅使されつゝ、蔣政權と共に奥地へ奥地へと遁入した。

◇

彼等の中には抗日前線に加はり或は後方勤務に從事して今なほ直接戰線に參加してゐるものも少くないが大部分は雲南省昆明、四川省重慶、成都及び湖南省南部に轉々移動し專ら抗日教育をうけてゐる。その中でも共產黨の本據と云はれる延安に走つたものは純然たる赤色教育のもとにたゞ一途に强烈な抗日意識の昂揚とその實際的手段方法の教育をうけてゐる。

◇

延安に設置された抗日大學はこれ等左翼的最急進分子を收容してコミンテルンの指令に基き中國共產黨、第八路軍の指導をうけて遊擊的抗戰法を教授してゐるのである。

◇

この抗日學生の殿堂とされる延安抗日大學も去月中旬以來數回にわたる我が空軍の大爆擊に見舞はれ一部は甘肅省蘭州に移動を開始したと云はれるが、これは八年前中國ソヴエート政府が設立した紅軍中級幹部養成を目的として設立されたもので開校當初は五百人程度だつたが抗戰以來倍に增加し、現在では學生數三千五百名となつてゐる。

◇

事變前の入學者は紅軍關係人員のみに限られてゐたのであるが今日では各軍隊の兵士を始め各省各階級のものが入學しており洞窟の中に起居して赤色抗戰方法ゲリラ戰術、人民組織の方法等を特に敎へ込んでゐるのである。彼等學生は兵士官吏、車夫、店員など種々雜多で、その外に『小紅鬼』の名を以て呼ばれる少年共產黨員があり、これは云ふまでもなく、ソ聯のピオニールをそつくり眞似たものである。

◇

彼等の食事は粟と野菜の極めて粗末なものであり、洞穴の中に眠り硬く冷たい土の上に起居し電燈は夜間勉學の用に供せられるだけで極度の窮乏を極めてゐるが赤魔に魅せられ抗日救國の迷夢にとりつかれてゐる彼等はこの不自由も意に介せず熱病やみの如くに熱中してゐると云はれてゐる。いづれにしても斯うした輩を次ぎから次ぎと生產しつゝある赤色抗日大學の存在は我々の見逃すべからざるものでなければならぬ。【上海特信】

孤獨は人類の幸福か？

結婚と獨身……（二）

在リオ KS&T生

○

一國に於けるうまごやしの繁茂の多少はその國に於ける老孃の數を支配すると云ふすばらしい推理が西洋にあります、うまごやしが繁殖する爲には是を媒介する土蜂が必要になつて來る土蜂がふえて來るとその巢を荒して蜜を盜まうとする野鼠が從つて殖えて來るであらう、而して野鼠の繁殖は同時に又是を捕食する所のネコの增加を招くであらうし、ネコを最も多く飼ひたがるものは老孃であるからどうしてもうまごやしと老孃の數との間には相互關係がなければならないと云ふのが右の複雜な推論の全部であります。

勿論何かの諷刺として選み出されたものである事はいふまでもないが、人間の推理間には意味の連絡が複雜な點に於て右の比喩を遙かに通り越して居らものは澤山ある、例へば一人の高名な小說家が居つて、人類の間に結婚はあつてもよいが然しその束縛は從來の如きであつてはならない、といふ叫びを上げたものがありとする、その小說家一人の頭にして見れば愛と結婚、結婚とその制限力の間に深甚な考察のあとがあり、考察の結果として束縛の過重を呪ふ言葉が生れたにしても、これを讀む人の頭には何しろ事柄が突然であるため著者自身ほど周密な考へを運ぶ暇がないでもあらうし、又有つたにしても必ずしも著者同樣な推理の過程を辿り、著者同樣の結論には運ばないでありませう、其處には必ず種々雜多な『うまごやし老孃』が生れるに相違ありません、そしてその誰しもが愛と結婚、結婚と束縛を吾がものとして論じ合ふに相違ありませんイブセンやトマス、ハーデイーは此の意味に於て十人の眼を開き千人の眼を盲目にしたと思ひます。

○

然し結果如何に拘はらず女性の所謂自覺に就て近世の文藝がその自覺を加速度に昂進せしめる所の或る與件をなした事には誰も異存はないでせう、つまり手早く云へば既に物質的に解放された女性が、そこに文藝から來る精神的解放により一層自分等の存在と、自分等の自覺、運動の意義を一層確かめたと云ひたいのであります。

斯くして女性は現世紀に於ける一つの勝利者になつて居ります、女大學に依り男子の從屬物として制肘と服從の中に喘いで居つた彼女達は、近代文藝のために解放されし男子と同じ埒外に出て來たのです、そして其の埒外で男性と女性とが內容に於て差別のない生活をする程、男女の生活は文明的に改善されたものだと世人は信ずる樣になつて來て居ります。

○

だから一國土に於て男對女の關係が生殖中心であればある程その國の文化の度は低いものにされる樣な事情も生れて來るのでありますが、此所に一つの如何ともする事の出來ないものが取り殘されて居る、そしてその一つは宛かも人間の兩性關係の進化？を裏切るもの、樣な嚴乎として存在する、一方に人間が兩性の關係を文明的にしやうとして焦れば焦る程他方その一つが是に伴ふ大きな障害をなして行かうとする。

一つとは何乎？　云ふ迄もなくそれは人間の性慾であります。

記者の雜記帳

▽……事變下の意義深き紀元節は明後日、この芽出度佳節を期し軍患機獻納運動宣傳飛行が鈴木飛行士に依り決行せらる、成功を祈る

▽……中央線十一校邦語教師の結成協議會が十九日モヂで開催さる有爲の會たれ

▽……市內ピネイロス小學校が後援會の手に移つた時節柄一層の奮勵を請ふ

▽……聖市日會長に宮坂の再出馬やオイチニの出馬を待望すると南無阿彌陀佛だ

有情無情

北西線プロミツソンの慘劇に就て社友由永正市君から次の詳報を得た。

▽……犯人トルコの子供は迚も質の惡い奴で平素から近所の子供達を對手に喧嘩ばかりして居り、みんな手こづつて居た嫌はれ者で其れは丁度町でよく靴磨きなど質の惡いのが居るが、ああいふたちの子供で一年前母親に連れられてトルコから來たもの。

▽……その日も飯田商店で惡戯を始め同店の小僧（光雄）が對手になつて喧嘩を始めた、ところがシリオは煉瓦を投げるやら手當り次第店內に物を投げて亂暴を働き、その上日本人の惡口『ジャポン、フイリヤ、ダ、プータ』とか盛んに雜言を吐き果ては大人にまで掛つて來るので、たまり兼ね店主飯田氏が出て少しばかり懲らしめて追出した。

▽……追出されたのがシャクで家に歸り親にたきつけそれから一時間後午后八時頃外にトルコ二三名連れて再び喧嘩を賣りに來た。

▽……その時恰も飯田商店の前の福田菓子店の店頭で休息して居つた飯田茂刀君や神田貢君にくつて掛り口論を始めたが、もと／＼トルコの子供が惡いので言ひ負けして仕舞つた。

▽……そこへ折惡く對手の光雄小僧が來合したので、トルコは『此の小僧ッ』とばかりに光雄君をとつちめて亂打した、其を見て、何をするかッ！　と日本人側はトルコと激論の末亂鬪を始めたが、彼等は來る時既に武裝して來て居るので直に發砲して神田水落兩氏が重傷を負ふた。

▽……日本人の常として、どんな場合でも對手を殺害するといふことは並大抵の事ではやれないのに、事は取るに足らぬ些々たる子供の喧嘩であるから、別に氣に留めて居るではなし、ましてこんな慘劇が起きやうなど夢にも思つて居ないのだから、そこに油斷が有つたのである。

▽……死んだ二人は喧嘩の當事者でなく、その時に運惡く居合はせて受けた慘事なのだから全く同情に堪へない、殊に水落氏は十一人の小さい子供を遺して逝つたのだから、內外人共同情の涙を絞らせて居る。

主要產物市況

【二月八日現在】

●カフエー（四級品）	二〇、二〇〇
●アルゴドン（五級品）	四七、五〇〇
●白米（アグーリヤ）	買値
エストラ	六一、〇〇〇
ボン	四九、〇〇〇
●フエジヨン	買値
ムラチーニヨ	四三、〇〇〇
同上ボン	四〇、〇〇〇
●ミーリヨ	
アマレリニヨ	二〇、四〇〇
アマレロン	一八、六〇〇
●バタチンニヤ	買値
スペリオル	二一、〇〇〇
ボア	一八、〇〇〇
●メリケン粉　一等品	三七、〇〇〇
●砂糖（白極上）	六六、〇〇〇
●バンニヤ（箱）	一九〇、〇〇〇
●マモーナ	五三〇

地方外交員數名
右急募す
但し保證人を要す
●希望者は履歷書携帶午后御來談の事

尋人廣告

左記者の現住所承知致度に付本人又は御存知の向は當館宛御一報相煩度

記

茨城縣筑波郡谷田部町	藤澤金藏
和歌山縣	堀田卯一
新潟縣東頸城郡旭村	布施藤藏
廣島縣安佐郡矢野町	益金紀美子
栃木縣宇都宮市	金甫中次郎
宮崎縣北諸縣郡西嶽	伊藤甚三郎（及其家族）
靜岡縣田方郡	神田達雄
北海道旭川市旭川町	佐藤虎造
宮城縣名取郡岩沼町	小野武廣
福井縣大飯郡內浦村	柴原辨治
熊本縣天草郡本渡町	中山平吉
同　鹿本郡田底村	右田次一
同	上野前
三重縣度會郡一之瀨村	前田重太郎
	前田伊助
	中田種三

昭和十四年一月十七日
在サンパウロ
帝國總領事館

▽……お泊り心地の好いお宿
和歌山旅館
サンパウロ市コンセレイロ　フルタード　七〇
電話　二―八三四九
（舊上地旅館）
R. Cons. Furtado 70
Tel. 2-8349

歯科一般
大久保歯科院
診察時間隨意
聖市イルマン　シンプリシアナ　五四　二階（中矢商店前）

歯科醫
寶臣衛
マリリヤ市キンゼ　デ　ノーベンブロ街七〇
郵函　三六〇

岡山歯科
歯科一般　口腔外科　X光線科
市內　コンデ　ピニヤール　一三五
電話　二―六〇三七

淺倉歯科院
聖市グローリア街三五二
電話二―六八四八
●毎日曜日コチアへ出張診療（室永氏方）
Rua da Gloria 352
S.Paulo
(Largo do S.Paulo)

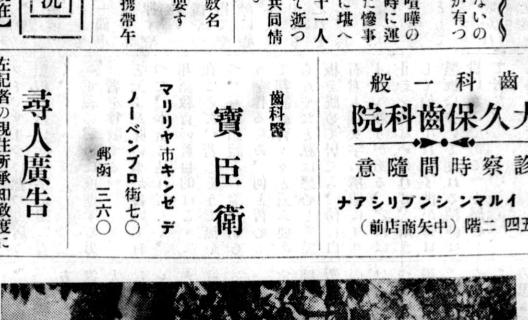
社告

右弊社々員地方愛讀者各位を訪問致させ候間何卒よろしく御配慮下され度御願申上げ候

野崎彌太郎

一月十九日

南米新報社



北西線唯一の遊園池！
何處まで行つても果てない……
……赤い土ほこりのノロエステ線
……殊に山高く水清き里を忘れぬ
……日本人の集團する奥地に……
……たつた一つのオアシス……
……殺風景なノロエステにも
……斯んな美しい靜寂な水鄉が有つたのかと
……來て見て誰れでも驚かぬ人は無い
……アラサツーバ、サフイオチ遊園池
▽……どうぞ一度見物旁々御清遊にお出かけ下さい
水泳ぎ、舟遊び快適、池畔の靜座讀書にも好適、更に鮮魚で一杯きこし召せば倚更妙
●——御宴會、團體御來遊も歡迎
アラサツーバ市
サフイオチ遊園池
バール經營
白石次雄

掘出物
●新築家屋賣り度し
室四ッ、其他コヂーニヤ、バンニエイロ、モトール付ポンプ設置しあり
一千二百平方米の宅地の中にあり
場所　ルア、オビドール、ペレーヂヤ九〇
▽……御希望の方は市內キンチーノ、ボカユーバ五四番一〇五號室へ御照會あり度し
午前中は十時——十一時半迄
午后は四時——五時半迄

迚も靜かで
ごゆつくり
お遊び願へる
料亭？
千鳥
ピネイロス　フエルナンチアス　五二

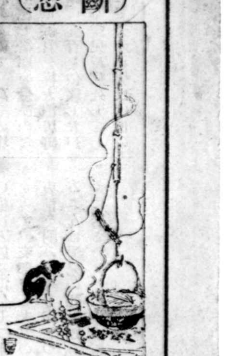
北大醫學士
今田求
診察時間　午前九時ヨリ　午後五時マデ
リンス市
電話　一四三
郵函　二〇三

リオ醫大出身
伯國歯科醫學士
北川重信
診療時間
午前8時30—11時30
午後2時30—7時迄
聖市イルマン・シンプリシアナ街二—
伊藤商會二階

（斷想）

輪篇を憶ふ

聖市郊外　ガマ堂稿



○―○

すつと昔、支那に桓公と申し至つて學問御自慢の帝王があつた。

ある日のこと堂上に座して朗々と聲を高らかに御讀書で御座ります。

すると、丁度その堂下に輪扁と云つて車輪を造つて居る一大工がありましたが桓公のおさまり返つた態度や、得意氣な讀書の聲がおかしくて、ひとり靜かにニヤリ〳〵と笑ひをつたが遂たまりかね大口開いてアハツハ〳〵と大聲立て爆笑してしまつた、堂上の王は怪嫌な顔でジロリと堂下の彼を見下し、不都合千萬な奴何がおかしいと云はぬばかりの面持ちをした。

○―○

輪扁は心ひそかに、どうせ張子の虎、相手ござるも大人氣なしと思つてみたが、キャツあまりに放つて置けば、クセになる、一つ小ツピドクやつつけてやれと、手にせる槌やノミを投げ捨て、急にツカ〳〵と堂上に驅け上り大膽不敵にも桓公に問答を吹きかけた。

曰く聖賢人在るか。

曰く已に死せり。

曰く然らば公の讀むところのものは故古人の糟粕のみ云々と。何と痛快な問答ではないか、即ち豪然と堂上に座し朗々と書を讀み文を草し、或は又勿体ぶつて之を説くも、聖賢人の大精神なんかはわかるものか、否々よしやその一端は解つてみたところで、之を其の身にチヤンと自得する迄にはなか〳〵以て容易なことでは御座らぬ。

○―○

故につまるところ公は聖賢人の遺した糟や殘骸をいじくり廻して得々然な阿呆に過ぎないと罵倒したのである。されば桓公は其れこそ、ほんとに怒髪冠をついての大憤慨、どうも失敬千萬な奴かな。

一叩き大工の分際として此方が親しく聖賢の書を讀み居るを彼れ是れ議論がましき事とは何ごとぞ、それとも申し開きが出來れば赦して遣はすが、さもなくば直ちに死罪である。

と物凄く睨みつけられた。

然しながら、此の輪扁固より尋常一樣の叩き大工ではない、所謂聖人市に隠るの類で、これこそ眞物、仲々の大器、桓公如きにへこまされるどころか、却つて大いに桓公に諭すところあらんとしたのであるから、然らば申し上ます。

○―○

私は生來無學者で貧乏ときてますから、實にはや結構な方々の樣に上顎と下顎のブツカリ放題、心にもない戲論を弄んだり、蚊章とか云ふものをいぢくり廻しをる樣な才も暇も御座りません、只幼少の頃から、オマンマを食べる爲一生懸命やつて來ました。

輪造り大工職のことで御座りまするが、このいさゝかな輪造りにしても百萬遍説明したつて屁の河童、何が何やら解るものではありません。

まあ何よりも先づそのコツと云ふ奴がむつかしいので、ゆるければ固まらず、堅ければゆるからずと云ふところを、堅からずゆるからず調度よい按配にキチンとうまくはめ込み、何時いかなる時でもカラ〳〵と具合よく馬車を進めるといふ處が、なか〳〵どうして筆や舌では現はし得ず、私はこのコツの極意をば私の子に傳授しやうと、一生懸命やりをりますが其れが今以て出來ません。

○―○

で、斯うして毎日公の御馬車の車輪造りをしてをりまする次第でござります、そして私の子も、もはや四十二歳、世間では上手の達者のと評判しをりまするが此の私から見ますれば、いやはや丸で成つてをりませんでござります、私のやうな一叩き大工が車輪如きを作るやうな些々たる事でさへそうとしますれば、天下萬民を敎へ導くなど、云ふやうな古聖賢の如きは、その有難い大精神を少しも傳授することもできす、無量の感を遺して死なれたこと、存ぜられますが、果して如何がのものでありませうか。即ち公の朗々とお[illegible]になる書物も要するに後世の小器用なゴマの蠅共が己の飯を食ふ種子にこね上げたもの、で、そんなくだらぬ暇があるならばユツクリ晝寢でもして別に自得の大工夫を凝らされたならば如何なものでございませうか？

○―○

是れが彼大工が時の王たる桓公に對しムキツケに喰はした大活教訓であつた。堂々勿体ぶつて死文字に拘泥し筆舌の虚を以て天下を治めんとしたが、一大工から此のタワケ者め、阿呆もよい加減にせよとの大痛棒を喰つて一言もなかつた、彼れ桓公の脚下にも及ばぬ世の浮草共や旅鳥め、今以て月給の手前世間体を飾り立てるための口舌を弄し曰く敬禮、曰く愛國行進歌合唱、曰く一分間の默禱、曰く第二世の前進、曰く伯主日從、曰　日本精神まではまだしも、そろ〳〵馬脚を現はし出して曰く何分調査の上で、一先づ報告を待つてなどとホザし出す、その聲の大なれば大なるだけ賣女の嬌態にも似て呆る、の外なし。

古來目明き千人目くら千人と稱せらる、も、今日では目明き一人に目くら万人の割合で羊頭狗肉、面從背反一切萬事私利私慾か人生活動と人間評價の標準とはなさけないが特に伯國に於ておやだ。

洋の東西を問はず建設の前には必ず大破壊の來るは歴史の證するところ、然らばこの秋この際誰れか出て狗鼠の徒を膺懲するか、何人が出て狐狸の似而非紳士群を一掃するか？　此意味に於て吾人は巷の英豪輪扁をしのぶや切、憶ふや切なるものがある。千古の英帝明治天皇の侍從として、御信任特に篤かりし不出世の達人山岡鉄舟先生の吟詠に曰く

糞を措き蛆を取り去る
何事ぞ糞より出づる
蛆と知らずや

時節柄味はふべき歌ではないか。

人々を宗教的法悦境に迄導く

夏の涼味空想の感覺
香料にも音樂がある

香師は半分生れ半分は育てらる

興味は深い香の歴史

【承前】

ローマ時代になると、香料は非常に進歩してきた、六世紀頃には、植物性油を水蒸氣利用で抽出し、八世紀には蒸溜作用でバラ水を製造し、香粉及び香水が始められたのもローマ時代である。

シャーレマン大帝が宮廷に香水をまき散らしたと云ふが一般に用ひられ出したのは、十字軍の後で、騎士が婦人のために持ち歸つたのに歸因する

フランス王のルイが、バンケツテの後で、バラ水で賓客に手を洗はせたといふ記錄が、素晴らしい饗宴の一として殘つてゐる。

◇……◇

香水屋がボツ〳〵儲かり出したのはフランスで夫も十二世紀以後の事である。

イギリスでは、エリザベス女王が特にジャ香やジャ香ネコの強い香りを愛したといふ。

一六六三年に發行された『女王のお調度室』の中には、リンゴと小犬の油とで造るポマードの製法が載つてゐる。

フランス最古の香料文献たる『ピエモンデ人、アレキシスの親方の秘傳』には香水の物騒極まる處方がある『巣から子鳥をとり、夫れをば四十日間、ゆで卵にて育て、その後しめ殺し、テンニンクワの葉と滑石及びアルモンド油とを混じて蒸溜せよ』

◇……◇

以上は、ヨーロツパにおける香料の沿革の一端であるが、支那では秦以前より薫香の存在はあつたらしい日本においては、推古大皇の三年、沈香の這入つたのが最初で、後世は、薫劑を燒酎又は酒に浸して髪の香料とし、丁字じや香、龍腦などで匂ひ袋を造つて使用した。

香水とか、ランビキとか云ふ言葉は、天文以後の話であつて、勿論一般的に用ひられた譯ではなかつた。

◇……◇

香料の種類に二種ある、單純香及び複雜香である前者は、ばら香水、すみれの如く唯だ一種類の香りのみをもつものであり、後者は一つの香りを主調として之れに各種のかほりを以て渾然たる一群をなすもの、觀念的には、かの音樂におけるシンフオニィと同樣の役目を持つものである。

ブケエと稱するものが是で、現在の香水は、皆、是ならざるはない。

香師なる者は、この點に關しては敏感なる機能の持つ者だ。

香といふものは、或場合は混合して別種の新しい香となる事がある、たとへば麝香と阿片との混合香の如きものである。

又別種の香が互に弱めあひ、打消す場合がある、ハバカリを汲取る時醤油をくべるが如きこの主旨である

◇……◇

又、香の好い惡いは、へリオトロオプに僅少のクマリンを加ふれば、非常に芳香を增し、薄荷油とヂヤスミン油とでは其反對なるが如きこれである。

香にも音と同じ調べがある、強弱がある、強弱といつても、種類によつては濃いもの必ずしも芳香を出さない、むしろ夫を稀薄にする事によつて、微妙なる香を漂はすものがある、じや香の如く、うすめる事によつて、芳烈な香氣を發するが如き、其例である。

故にもし、香の調べがあるならば、夫は、いかなる有機的の連絡を持つかといふ事が問題になる、フランスのピイス博士は、音階と同じ意味で、香の階調を譜表の上に並べて、驚くべき分類を造つた。

◇……◇

香作りは容易な術ではない、香師は半分は生れ、半分は育てられる。

御園化粧料の某技師は、二百種近くの香を嗅ぎわけるさうだ。

さういふ人でさへ、創り出す作品は滿足なものは少ない樣である。

香の感覺は空想の感覺だとツイムメルコンはいひ、ボオドレエルは、他のものの魂が音樂の上を、泳いでゐるといはれてゐた。

丁度十年程前かになるが資生堂で『光と香の會』といふものを催した事がある中に源氏五十四帖を象徴した香の一流れがある、筆者は思はず、その古木の一瓶に、空蟬の一つ眼を吸ひよせられたが、作者の幻想がどこの點まで、其香の中にふくまれてゐるのかを知るためには、あの會は不適當であつた、筆者は只水族館でも覗く樣に、遠くから、單に洒落た色どりをながめるより外なかつた。

（終り）

自然界の驚異は無限

光る動物の話（二）

（直接眼に映ずる不思議として古から人間の好奇心をそゝるもの）

○―○

夜光虫の次では光る魚です。

發光魚も今日では殆ど一般の知識になつて居り餘り珍らしい話ではありませんから概略説明しますが、春鯖の一部が變形して鼻の先に突き出て居りその尖端に發光器があつて本當に提燈をぶら下げて居る樣な格好のものだの體の兩側に一乃至二列の發光斑點が並列して居るものだの、樣々なのがあります、その目的も餌となる小魚を誘惑しやうと云ふ虫のよい思ひつき、敵に警戒を與へやうとする臆病提燈、或は兩者兼帶等と分れて居る樣であります、或魚は體表の器管から發光物質を海水の中に分泌するとそれが西洋皿位の大きさの光り幕となり、完全に其影に姿を隠す事の出來るものでありますが、是は明るい所に於ける烏賊の墨に相當する。

○―○

明るい所では黒い汁が役に立つが眞暗な世界では反つて光るものが同じ意味の役に立つて居る所が甚だ面白く、恰も八門遁甲は火遁の術と云ふ奴です、其外地中海によく見受ける魚は海の表面を泳ぎながら發光するものと、その光りが丁度月光を波に映じる樣な奇觀を呈するのを以て有名ですが、海底何千尺と云ふ所から何哩の眞つ暗な所に居るものは成程提燈の用もあるであらうに淺海を泳ぎながらの燈火携帶は少し用意のよ過ぎる話にも聞えませう

○―○

大體に於て發光魚の發光體は、分泌される發光物質は、ルシフエリンと、是れを完全に酸化させる一種の酵素ルシフエラーゼとが最も主要なものになつて居り、人間が百年一日の如く探究してまだ完全な成果を見ない冷光も、畢竟是等の暗示を手懸にその研究の道筋が向けられて居ると云ふわけになります、多數の發光魚にあつては分泌物は直接體表に滲出されて居りますが、中には薄い透明な被膜を表面に持つた發光器の中に發光物質を藏して、其中から光を放出して居るのもあります。

○―○

甲殻類の中にも發光機能を持つものは珍しくありません、或種の深海産の蟹は發光性の眼を所有して居りその尖端が火の球の樣に見えるのがあります、爛々として人を射る眼も決して勇武な人の專賣品ではないと云ふわけであります。

又ある南米産の發光蟹を捕へて、その外見を記述した人の言葉に『體の表面はまるで今焰の中から引き出した樣に燃えて居る、焰をあげ閃光を放つ模樣はまるで燃え盛つて居る一團の火である、水夫の中にはその蟹を、爐から轉げ出した石炭の塊かと思つた者さへある』とあります、少し大袈裟な嫌ひもありますが、大體本當を傳へて居ると思ひます。

○―○

北西線の旅

〔一記者〕

其の二

吾等は是處を單に『池』と稱するも實はその規模の大なる、またあたりの風致から見て寧ろ『湖』の趣きがある、私は曾て月明の諏訪湖畔に佇みつ、水海だけがもつ閑寂清明の氣を滿喫したことが有るが、今再びサフイオチ池畔に佇み恰も諏訪湖に來たやぅだと、云つたところ諏訪人の勝田君も同感のやうだつた、池中尺有余の大魚がパンを投げてやると幾らでも飛び上るからとてわざ〳〵蠟燭の灯をたよりに水邊に出でパンを割いては投げる、成る程銀波にポチャーン〳〵と四邊の沈默を破つて大魚が躍り上るさまは見事なもんだ、在伯廿年初めて忘我詩中の人となる。

▽……△

所有主サフイオチ君は生國イタリヤから渡伯して四十年。刻苦奮鬪、今日までに相當産を成した人である、當年五十歳身長六尺體重四十貫以上もあらうといふ大男、容貌また怪偉でイタリヤ人特有の不屈不撓の面だましひを具へ、蠻聲を張り揚げ傍若無人に思ふことをどん〳〵言つてのけるところ飽くまでムツソリニ式だ、彼は熱心なファツシスタで同時に大の日本ビイキと來て居るから、白石君とも自然意氣投合し、今ではバールの經營から遊園池の監視に至るまで一切白石君に一任して居る始末であるが、サフイオチ君が親しく記者に談つたところに依ると、この男も大分苦勞人で他人の難儀を見ては、どうしても默つて視て居られない持つて生れた義俠心から貸したり保證をしたりして折角築き上げた富に段々ヒビが入り、出來るならこのサフイオチ遊園池も整理して聖市郊外へでも引退し度いと言つてゐた。

▽……△

遊園地は池畔の建物など入れて二アルケール半、之れを百五十コントス位なら手ばなしても可いと正直に記者へ意中を漏らしたが、是れだけの大遊園地を百五十コントスは如何にも安いものだと思つた、若しこれが幸にして日本人の有に歸し斯樣な道にかけては獨特の趣向と頭腦を有する日本人の手で經營されるやうになつたら、實際面白い、否たゞに面白いものになるばかりでなく營利事業としても相當ソロバンが採れるだらう、例へば池の一半を割いて養魚場としたり、娯樂場としてもつと設備を加へたり或は轉地靜養所としての施設等を考慮すれば、斯種の機關に乏しい北西線に於ては仲々重寶な場所となる事は疑無しである。

此の點、當の白石君にも可なり食指は動いてゐるらしいが、問題は取敢ず是處を買收する資金である、然しこれは邦人間に於て株式組織にでもしたら如何かと思はれる、序を以て同地方の有志有力者の一考を促して置き度い。

▽……△

遊園地の近隣に滋賀縣人今西敬六郎翁が住んで居られる、翁は熱心な本紙の共鳴者でまた强烈な日蓮主義者である、今度私がこゝに來訪したことを心から歡んで戴いた一人で、當年七十三の高齢尚かく鑠として壯者を凌がむばかりの元氣を以て記者を迎へられた。

今西翁は在伯廿五年、今や老後の思出にとて、かねて信仰せらる、日蓮主義を以て邦人社會の時弊匡救と凡夫の濟度にその全力を注いで居られる篤志家であるが、往年日本に於て福井警察署長として硬骨をうたはれた人だけに、老たりと雖も馬前の功名奚ぞ若輩に一歩を讓るべき、の氣慨稜々たる趣きがあるは、我等後進の徒をして奮發剌戟せしめて餘師有りである。

ア市の邦人が斯樣な立派な大先覺を有しながら一向冷淡に看過して、何んら高敎を乞はむとする風無きは燈台下闇し、寶の持ち腐れ的そしりを免れないであらう、兎に角、今西翁のア市に健在する事は丁度ゴミダメの中にダイヤが光つて居るやうなもので我々同志として痛快の限りだ。

▽……△

邦語教育問題に關し時節柄農村では、どんな考へを持つて居るか？實際に打つかつて見聞して見たいと思つてゐたので、十七日朝白石、笠原兩君の案内を得てコレゴブラツタ植民地を訪ひ、更にグアララペス方面へ往つてみやうと自動車を飛ばせた、ア市からグアララペス街道はノロ線中でもめづらしい立派な坦々たる道路であるから、燒きつけるやうな熱い陽光を受けながら、思ひ切つて車の速力を出すことが出來るので涼風面を吹いて一望千里の綠野を走る快や喩ふるもの無しであつたが、愈々グアララペス街道を折れてブラツタ路に這入つた頃、思ひがけなく車輪が雨後崩潰の泥路に引つかゝり、二進も三進も動きが取れず一同車から降りてカルサになる木片を探し廻るやら、押すやら、引つ張るやら、物の一時間もデモーラした後やつと此の難關を突破し得てやれ〳〵だ、私はひそかに心で思つた、今我々日本人は教育難といふ泥路の中にもがいて居るが、必ずこれを突破しなくてはならん、其れには矢張り泥路の上にシツカリしたカルサが要る、而してそのカルサこそ不退轉の信念だ、日本人としての自覺だ！是れさへシツカりして居れば早かれ晩かれ屹度難關は突破する……と

やがて吾等一行はブラツタ植民地の元老坂本氏宅に到着した。

▽……△

坂本氏は吾一行の豫期せざる闖入客に些か意外の態であつた、少憩の後丸山及び宗我部兩氏を訪ふたが丸山氏は留守とのことで、宗我部氏宅で閑談する、先づ話題は邦語教育問題に入つたが、同氏は如何なる難關に遭遇するも巡回教授だけはして貰ふ積りだ、それが爲めに自宅を解放し自ら一切の責に任ずる覺悟をしてゐると、堅い信念だ、まつたく、そうでなくてはいかんと記者は頭を下げた。

この宗我部氏は坂本氏と同じく土佐の産で土佐人特有の負けじ魂、氣骨稜々たるものがあり大に吾が意を得たる士であるが、殊に宗我部氏はその一子を本社創業以來記者のもとに托し、すべてを信頼して呉れてゐる謂はゞ我等の同志であるだけ、その家には白木の神棚を祀り毎朝家族揃つて皇國の彌榮を祈つて居られる即ち子弟の邦語教育は單に口頭禪ばかりではなく（世間には口頭禪が多い）その精神を自ら身を以て子弟に範を示して居るところは洵に賴母しいことだと思つたフト、サーラに懸つて居る黒板の白い大文字が眼に着く、

『正義の爲めに直進する勇者を尊敬する』

と云ふ意味の事が書いて有つた、本當に是れだ〳〵、邦語教育の眞目的はこゝに在るのだ、若しそうで無かつたら論語讀みの論語知らずを作るのみ、何を苦心して邦語教育々々と云ふ要あらんやだと私は感心して黒板を眺めて居たら、傍に白石君も『文字の構造にチヨイ〳〵誤りがある、之れは止むを得ないけれど、斯うして伯國生れの子供が毎日黒板に書いて呉れる精神は貴いものである』と感心して居た。

▽……△

宗我部氏宅を辭し再び坂本氏を訪問したが相會するものに丸山宗我部安田松原等の諸氏に吾等の一行で中西武官のフタマタ式教育論に就ての批評やら、松原君（敎員）の『世間では新教育令の實施で現在の邦語教員が失職することは一の社會問題である、之れが救濟は刻下の急務だ、なんて論じて居る人もあるが是れこそ余計な心配だ、幾百の教員中そ[illegible]該當して困ると云ふやうな腰抜けが果して幾人居るだらうか？　邦語敎育の重要さと如何にして此の難關を打開すべきかと云ふ大問題の前に教員の失職を憂ふるとか何んとか云ふ如きは一顧の價値無き愚論で、寧ろ教職に在るものを侮辱するに等しい』との憤慨などで談論風發の趣であつた、眞面目な松原君が憤慨するのは全く無理無いことだと思つた、そこにも現代の陋風――唯物主義人生觀の醜惡な片影がちらつく尚教育問題の實際を見聞するに當り同地方に於ける斯界の一重鎭安田嚴君が此の席に會して居らる、のを機會に記者として一應同君に質して置きたい事もあつたが、如何に無遠慮な私と雖も事人格に關係するやうな件だから竊かに他日を期することゝした、兎に角眞面目に世話をして戴ければみんなの仕合せだがと心に祈つた。

我等一行は廣中寫眞師に紀念撮影をして貰つた後再び現はれた黒い雨雲にせき立てられ急ぎブラツタ植民地を辭して灯の頃ア市に歸着した。

【以下次號】

讀者論壇

バストス　一皇民生

邦語教育問題に就てリオ方面と聖市方面の意見が相違して一時世間は賑つたが大使館側では『對伯外交』なるものを考慮して恰もハレ物に觸るやうにして居ると云はれてゐる、即ち中西武官の豹變的教育論の生れる所以である。

然しながら外交工策は暫定的のものであるが、民族精神は根本的のものである暫定的の方便を以て根本的の大問題をいゝ加減に片づけると云ふ事は、斷じて誤つて居る、我國の外交は皇道精神の普遍であるから、この精神が凡ての軌準とならなければならぬ、然るをこんな問題であんまり此方の思ふ事を主張すると對手の感情を害するから……とは一體全體何んのざまだ！

尚我々の腑に落ちぬ事は卑屈退嬰外交は既に日本からは清算されてゐる筈だ。

聖報でリオ椎野某が書いた『あれは中西武官個人の意見と云ひ條實は陸軍の意見と見てよいから百姓共默つて聽從しろ』と云ふ意味の提灯論だが、實に廿萬同胞を喰つた意見だ、左樣な事を平氣で載せる新聞も新聞書かせる奴[illegible]書かせる奴だ

瀨安
ANZE MOLIZI
CAIXA POSTAL 300
ARAÇATUBA N.O.B.

本店　アラサツーバ市
事務所　精米所　珈琲倉庫
電話五四　郵函三〇〇
安瀬商會
支店　アグアリンバ
内外雜貨　食料品
珈琲　フバ工場
支店　ヴァルパライゾ

同仁會地方醫局
醫學士　内田利藤次
プ、プルデンテ市

薄利多賣
品質本位
◇味美しくて
刺の利くお醤油
黒島印醤油
製造人　黒島伊平治
北西線プロミツソン驛前

高級住宅賣却
場所　電車ヴィラ、マリアナ終点停留場より僅かに二分間、日本病院に近し
住宅　新築の二階建にてガラージ附き庭廣く建て方樣式は優秀にしてフランス風、高級造作附き
右賣却につき價格其他詳細は南米新報社へ照會されたし
南米新報社
電話七一一六一四番

明穗事務所
（海興直グ上）
Rua Felipe de Oliveira, 21
4 and. Sala 18
Telef. 2-3444　C. P. 970
S. PAULO
呼寄、法律相談
被呼寄人提示金償還
專賣特許、商標登錄
右諸手續確實迅速ニ取扱フ

ESCRIPTORIO
M. MIZUMOTO
Rua 11 de Agosto, 64 - 6° and.
Tel. 3-1090 - C. Postal, 3962
S. PAULO
水本法律事務所
●商業登錄　●專賣特許出願
●鑑識手帳　●營業登錄
●諸願書製作　●其他一般手續
迅速且つ正確
聖市オンゼ・デ・アゴースト街
六四番六階
電話　三・一〇九〇番
郵函　三九六二番